

公表

事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		保育所等訪問支援 マーブル					公表日	令和7年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		お子様に応じて準備している。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準を満たし、適切に職員配置を行っている。	4月よりスタッフ増員を予定している。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		日々の業務を見直す機会を定期的に設け、ス タッフ全体で業務改善に取り組んでいる。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様アンケートを実施し、職員全体で改 善点等の討議を行っている。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		定期的に行うミーティングで業務改善を行っ ている。	機会は設けているが、各々がよりよい意見を出しあえるように改善をしていく。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○		現在は行えていないが、今後は外部評価の導 入を検討していく。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に事業所内研修を行っている。また、 外部研修への参加も定期的に行っている。			
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		定期的に保護者様から聞き取りを行い、その 後のアセスメントを基に計画を作成してい る。	再評価をすることで、ニーズに即した見直し を行っていく。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		情報共有は行っているが今後は会議を行い、 最善の利益を考慮した検討を行っていく。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		情報共有をし、実際のお子様の様子をみなが ら意向を盛り込んだ計画を作成している。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		職員間で共有し、計画に沿った支援を行って いる。	計画に沿っているかの確認を定期的に行っ ていく。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子様に合わせた評価を行い、再評価をする ことで確認している。	インフォーマルなアセスメントの導入につい て今度必要に応じて使用するようになる。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容を 設定している。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		職員間で共有し、計画に沿った支援を行って いる。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。		○		現在実施できていないため、今後は連携した 支援を行っていく。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後に振り返りや気づいた点等の共有はで きている。	なるべくその日のうちに情報共有できるよう に改善していく。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		理念や支援手法をできる限り尊重した支援を 行っている。				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		POCAサイクルに沿うように支援・記録・検 証・改善につなげていく。				

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングや担当者会議の内容を元に適切な見直しを行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所と連携し、担当者会議には現在子どもの担当が参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関とは定期的に連携をし、情報共有に務めている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現状報告書を作成し、直接学校にお渡しし、支援内容の共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		可能な限り専門機関の研修を受けている専門機関との連携もできている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		できるだけ参加をし、講師をすることもある。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保育所等訪問終了後、記録をお渡しし、子どもの状況を共有している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			次年度より年に数回の研修を行う予定。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に重要事項説明書の中で詳細を説明をしている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問した際に事業の趣旨や訪問支援の目的について説明をしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		担当者会議で子どもや保護者様の移行を確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		計画書を渡す際に必ず説明を行い同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からの相談にはその都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			今後機会を設けるよう検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様からの相談について随意受け付けており、その都度迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		通信は発行していないがSNS等で発信している。	
訪問先施設への	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に個人情報取り扱い同意書の説明を行い、確認・署名をいただいている。個人情報は鍵付キャビネットに保管している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		スケジュールや絵カードを用いたコミュニケーションツールを活用している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		相談にその都度対応し、必要な助言や支援を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		実施後にカンファレンスを行い、必要に応じて助言を行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		保育所等訪問終了後、記録をお渡しし、共有を行っている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については厳重に取り扱うよう務めている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		その都度、相談に応じながら専門的な助言を行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルはいつでも閲覧できるよう事業所内に提示。防災訓練は、個別療育の為職員のみで年2回実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		個別療育の為、各訓練は職員のみで年に2回実施している。	日頃から安全の意識を職員の共通認識として高めていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	事例集は作成していないが、該当する事案が発生した時、直ちにヒヤリハットを作成し職員間で共有、再発防止に努める。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		入社時と、年に1回研修の機会を設けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明し「身体拘束に関する同意書」に保護者様から署名をいただいている。	